

第2回動物診療助手認定試験問題

問 1.次の中から受付業務を行うときの対応として間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.来院した飼育者には笑顔で挨拶する。
- 2.受付の手順を覚えて、適切に対応する。
- 3.挨拶は、静かに小声で行う。
- 4.飼育者に聞かれたことが分からないときは自己判断で適当に答えない。
- 5.整理整頓を心掛けて効率よく業務が行えるように考える。

問 2.次の中から受付業務の注意点で間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.初診の来院であれば来院理由を丁寧に聞く。
- 2.必要書類の記入をお願いし、記入された内容を確認する。
- 3.飼育者や動物の名前を覚える努力はしなくてもよい。
- 4.待合室の様子や環境を注意して観察する。
- 5.待ち時間が長い場合は「お待たせして申し訳ありません。」と声掛けする。

問 3.次の中から受付での電話対応について間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.電話への応答は対面よりもはっきり、ゆっくりと話す。
- 2.掛かってきた電話には出来るだけ早く応答する。
- 3.受話器を取ったら動物病院名をはっきりと伝える。
- 4.応答の語尾をはっきりさせる。
- 5.相手側よりも先に電話を切る。

問 4.次の中から日本においてワクチンが販売されていないため予防が不可能な猫の感染症を1つ選びなさい。

- 1.猫伝染性鼻気管炎(FVR)
- 2.猫カリシウイルス感染症(FCV)
- 3.猫汎白血球減少症(FPL)
- 4.猫伝染性腹膜炎(FIP)
- 5.猫白血病ウイルス感染症(FeLV)

問 5.次の中から日本で販売されている人獣共通感染症の犬猫用ワクチンを1つ選びなさい。

- 1.狂犬病
- 2.レプトスピラ症
- 3.コロナウイルス感染症
- 4.高病原性鳥インフルエンザ

5.オウム病

問 6.次の中から飼育者とのコミュニケーションにおいて間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.印象を良くするために長い髪はまとめて、うつむいた時に前髪が顔に掛らないように留める。
- 2.飼育者と話す時は目線を同じ高さもしくは飼育者よりも低い目線にする。
- 3.状態を聴取する時はメモを取り、言葉遣いに注意する。
- 4.偏見や先入観等から高圧的な態度で接しない。
- 5.一方的に質問をして短時間で聴取できるように努める。

問 7.次の中から短頭種を1つ選びなさい。



問 8.次の中から動物診療助手倫理として正しいものを1つ選びなさい。

- 1.入院動物への投薬は動物診療助手の判断で可能である。
- 2.使用期限を過ぎた医薬品を自分の飼育動物に投与してもよい。
- 3.時間外診療の飼育者には説明を省略してもよい。
- 4.室内飼育の犬への狂犬病予防注射の接種は必要ない。
- 5.飼育者および飼育動物の情報は部外者に口外してはならない。

問 9.次の中から犬猫においてマイクロチップが装着されている部位を 1 つ選びなさい。

- 1.前肢
- 2.肩甲骨間
- 3.尾根部
- 4.下腹部
- 5.大腿部

問 10.次の中から外側伏在(サフェナ)静脈からの採血のための保定を 1 つ選びなさい。



問 11.次の中から暴れる犬猫の保定において適していないものを1つ選びなさい。

- 1.エリザベスカラー
- 2.バスタオル
- 3.洗濯ネット
- 4.保定用グローブ
- 5.サージカルテープ

問 12.次の中から採血時に必要ではないものを1つ選びなさい。

- 1.シリンジ
- 2.注射針(翼状針含む)
- 3.鑷子
- 4.アルコール綿花
- 5.各種試験管

問 13.次の中から抜歯鉗子を1つ選びなさい。



1



2



3



4



5

問 14.次の中から喉頭鏡を1つ選びなさい。



1.



2.



3.



4.



5.

問 15.次の中から不妊手術等の外科手術で必要ではないものを1つ選びなさい。

- 1.メス替刃、持針器、外科剪刀、鉗子、鑷子
- 2.開創器、メス柄、縫合糸、アリス鉗子
- 3.鑷子、外科剪刀、メス替刃、メッツェンバーム剪刀
- 4.抜歯鉗子、開口器、キュレット、エレベータ
- 5.持針器、鑷子、外科剪刀、鉗子、メス替刃

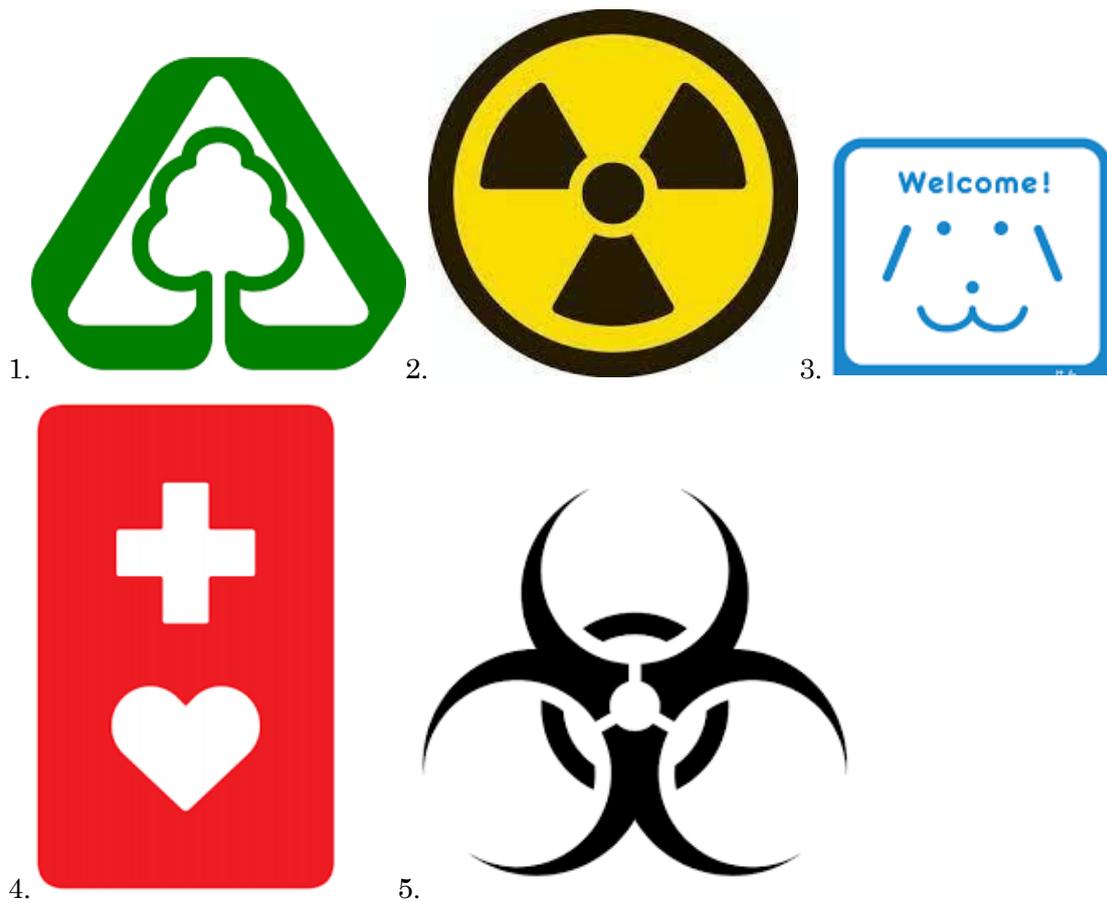
問 16.次の中から高圧蒸気滅菌(オートクレーブ滅菌)できないものを1つ選びなさい。

- 1.ガラスシリンジ
- 2.カテーテルチューブ
- 3.鋼製器具
- 4.布製ドレープ
- 5.ガーゼ

問 17.次の中から動物病院における廃棄物の記述について間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.動物病院から排出される廃棄物はすべて医療廃棄物である。
- 2.医療廃棄物は獣医療行為により排出された廃棄物である。
- 3.医療廃棄物は感染性廃棄物と非感染性廃棄物に分別できる。
- 4.感染性廃棄物は人に感染するおそれがある病原体が付着している可能性がある廃棄物である。
- 5.感染性廃棄物の保管はバイオハザードマークが付いた貫通しない容器で保管する。

問 18.次の中からバイオハザードマークを1つ選びなさい。



問 19.次の中から採血後の血液処理について間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.検査項目によって処理方法が異なるので採血前に実施する検査項目を確認して必要な容器を準備する。
- 2.外部の検査センターへ依頼する場合は検査項目により指定された容器を準備する。
- 3.血清を使う検査項目はヘパリン処理容器を使用する。
- 4.血液凝固時間を測定するときはクエン酸ナトリウム処理容器を使用する。
- 5.白血球数等を計測するときは EDTA 処理容器を使用する。

問 20.次の中から酸素と結合して組織に酸素を運搬する赤血球中の物質を1つ選びなさい。

- 1.ヘパリン
- 2.ヘモグロビン
- 3.アルブミン
- 4.グロブリン
- 5.ミオグロビン

問 21.次の中から血球数の計測や血液塗抹標本を作製するために使用する抗凝固剤を1つ選

びなさい。

- 1.ヘパリン
- 2.EDTA
- 3.カルシウム
- 4.クエン酸ナトリウム
- 5.フィブリン

問 22.写真の白血球の名称を次の中から 1 つ選びなさい。



- 1.好中球
- 2.好酸球
- 3.好塩基球
- 4.単球
- 5.リンパ球

問 23.次の中から血液塗抹標本作製について間違っているものを 1 つ選びなさい。

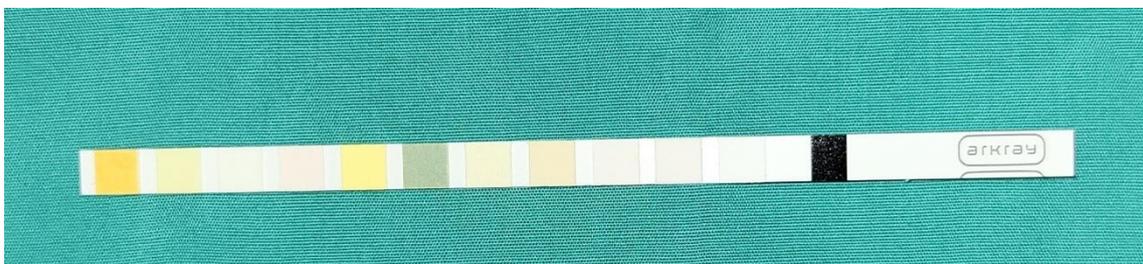
- 1.スライドグラスに血液を塗抹したらゆっくりと乾燥させる。
- 2.乾燥したらメタノールで固定する。
- 3.染色はギムザ染色やライト染色等を行う。
- 4.ニューメチレンブルー染色は網状赤血球やハインツ小体の検出に使用する。
- 5.抗凝固剤にヘパリンを使用すると血球の形態が変化するので使わない。

問 24.写真の検査装置により実施できる臨床検査を次の中から 1 つ選びなさい。



1. 血圧測定
2. 尿分析
3. 血球数測定
4. 血液生化学検査
5. 心拍数測定

問 25. 写真の検査用スティックを使用して実施する臨床検査を次の中から 1 つ選びなさい。



1. 尿検査
2. 尿沈渣
3. 血糖値測定

4.血中尿素窒素測定

5.涙量測定

問 26.写真の検査装置により実施できる臨床検査を次の中から1つ選びなさい。



1.心電図測定

2.血液生化学検査

3.血球数測定

4.尿分析

5.血圧測定

問 27.次の中から写真の器具を使用して測定を行う検査項目を1つ選びなさい。



- 1.赤血球数
- 2.白血球数
- 3.血色素量
- 4.赤血球容積比
- 5.血小板数

問 28.次の中から消化管内寄生虫ではないものを1つ選びなさい。

- 1.回虫
- 2.鉤虫
- 3.瓜実条虫
- 4.毛包虫
- 5.マンソン裂頭条虫

問 29.次の中から浮遊法よりも直接塗抹法での検出率が高い消化管内寄生虫を1つ選びなさい。

- 1.回虫
- 2.鞭虫
- 3.鉤虫
- 4.コクシジウム
- 5.糞線虫

問 30.次の中から写真の外部寄生虫によって感染する可能性がある消化管内寄生虫を1つ選びなさい。



- 1.回虫
- 2.鞭虫
- 3.鉤虫
- 4.マンソン裂頭条虫
- 5.瓜実条虫

問 31.次の中から幼虫移行症が人獣共通感染症に指定されている寄生虫を 1 つ選びなさい。

- 1.回虫
- 2.鞭虫
- 3.鉤虫
- 4.マンソン裂頭条虫
- 5.瓜実条虫

問 32.次の中から犬猫の一般身体検査について正しい記述を 1 つ選びなさい。

- 1.いつも同じ手順で実施し、見落としがないようにする。
- 2.TPR の T は体温で皮膚表面温度を計測する。
- 3.TPR の P は心拍数で聴診器がなければ計測できないので実施しない。
- 4.TPR の R は呼吸数で開口呼吸の時は 10 秒間の呼吸数を計測して 4 倍する。
- 5.CRT は毛細血管再充満時間で 2 秒以上であれば正常である。

問 33.次の中から放射線防護について間違っているものを 1 つ選びなさい。

- 1.放射線防護の原則は「撮影時間を長く」「線源から離れる」「遮蔽を行う」である。
- 2.保定等で管理区域である撮影室に入室する場合は防護着・防護用具を着用する。
- 3.防護着を畳んでおくと折れ目ができ、その部分の防護能力が低下する可能性があるため、ハンガー等に掛けて保管する。
- 4.被曝を出来るだけ少なくするために照射野を必要な部分のみとする。
- 5.フィルムバッジ等で個人の被曝線量を管理する。

問 34.次の中から入院室の管理について間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.消毒薬は素材に合わせて選び、濃度を調節して、汚れや埃を除去してから消毒する。
- 2.入院室の清掃はマスク・エプロン・手袋を着用して実施する。
- 3.ケージ内の入院動物は逃げ出さないようにケージから出して繋ぐかクレートに入れる。
- 4.ケージ内を観察して排泄物の状態等を記録・報告して、必要があれば排泄物の検査を行うので直ぐに廃棄しない。
- 5.ケージ内の清掃はすべてのケージで同じタオルを使い、上から下、奥から手前、汚れが多い所から少ない所に向かって拭き取る。

問 35.次の中から入院管理について間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.院内感染は入院ケージの徹底した消毒により完全に防ぐことができる。
- 2.伝染するおそれがある感染症動物は隔離して入院させなければならない。
- 3.入院動物の処置、入院室の清掃の順序は隔離動物を最後に行う。
- 4.入院動物の異変は記録して、緊急性が高い場合には出来るだけ早く獣医師に伝える。
- 5.退院後の注意や次回来院日等を確実に飼育者に伝えるためには書面に記載して飼育者に渡すと良い。

問 36.次の中から犬猫が摂取しても中毒を起こさない食材を1つ選びなさい。

- 1.長ネギ
- 2.ニラ
- 3.大根
- 4.ニンニク
- 5.玉ネギ

問 37.次の中から犬猫が摂取すると中毒を起こす可能性がある果物を1つ選びなさい。

- 1.ナシ
- 2.リンゴ
- 3.モモ
- 4.ミカン
- 5.ブドウ

問 38.次の中から水溶性ビタミンではないものを1つ選びなさい。

- 1.ビタミン B1
- 2.ビタミン B2
- 3.ビタミン B6
- 4.ビタミン B12

5. ビタミン E

問 39.次の中から猫が感じることができない味覚を 1 つ選びなさい。

- 1.酸味
- 2.塩味
- 3.甘味
- 4.旨味
- 5.苦味

問 40.次の中から高齢動物の食餌管理として間違っているものを 1 つ選びなさい。

- 1.食餌の摂取量が低下しているときには嗜好性が高い成長期用の高カロリー食に切り替える。
- 2.定時定量給餌で 1 日 2～3 回の給餌が望ましい。
- 3.食餌の摂取量が低下している時には自由採食や少量頻回給餌に切り替える。
- 4.嗜好性を高めるためには体温近くに温めて匂いを増加させる。
- 5.水分含有量を増加させると嗜好性が向上するので水またはぬるま湯を加える。

問 41.次の中から犬のデンタルケアについて正しいものを 1 つ選びなさい。

- 1.犬は齶歯にならないのでデンタルケアは必要ない。
- 2.無理に口を開けてデンタルケアを行って良い。
- 3.仔犬の時からおやつ等を使って口を触る訓練をして、ゆっくりとデンタルケアにならす。
- 4.デンタルケアを週 1 回行えば歯石は付着しない。
- 5.歯石が付着してからデンタルケアを実施する。

問 42.次の中から歯科処置時の注意点で間違っているものを 1 つ選びなさい。

- 1.歯科処置においては滅菌作業ではないので術着、帽子、マスク、グローブを装着しなくてよい。
- 2.術者の眼に細菌や歯石片が入らないようにする目的で眼鏡を着用する。
- 3.動物の眼に細菌が飛散する可能性があるので処置前に抗生剤を点眼する。
- 4.口腔内の洗浄を行いながら処置するので体温の低下を防ぐために保温する。
- 5.洗浄水が気管や食道に入らないように適切に吸引等を行う。

問 43.次の中から仔猫の乳歯から永久歯への交換が始まる月齢を 1 つ選びなさい。

- 1.生後 1～2 か月
- 2.生後 3～4 か月
- 3.生後 7～8 か月

- 4.生後 10～11 か月
- 5.生後 13～14 か月

問 44.次の中から仔猫が固形食を食べ始める週齢を 1 つ選びなさい。

- 1.生後 2 週齢
- 2.生後 4 週齢
- 3.生後 6 週齢
- 4.生後 8 週齢
- 5.生後 10 週齢

問 45.次の中から犬の分娩徴候となる行動等で間違っているものを 1 つ選びなさい。

- 1.食欲が低下する。
- 2.落ち着きがなくなる。
- 3.巣作り行動(穴掘り行動)がみられる。
- 4.排尿回数が増える。
- 5.分娩直前(20 時間程前)に体温の上昇が認められる。

問 46.次の中から写真の臓器の名称を 1 つ選びなさい。



- 1.腎臓

- 2.子宮
- 3.小腸
- 4.尿道
- 5.脾臓

問 47.次の中から飼育者の義務となっている予防等を1つ選びなさい。

- 1.ノミ・マダニ駆除剤による寄生予防
- 2.犬糸状虫症予防薬による寄生予防
- 3.不妊手術による妊娠予防
- 4.混合ワクチン接種による感染予防
- 5.狂犬病予防注射接種による感染予防

問 48.次の中から狂犬病についての間違った記述を1つ選びなさい。

- 1.すべての哺乳類に感染する。
- 2.日本においては生後91日以上の犬は年1回の予防注射接種が義務付けられている。
- 3.日本においては室内飼育犬と18歳以上の老犬は予防注射の接種が免除される。
- 4.世界で年間5万人程の人が狂犬病で死亡している。
- 5.発症するとほぼ100%死亡する。

問 49.動物の愛護及び管理に関する法律を所管する省庁を次の中から1つ選びなさい。

- 1.法務省
- 2.文部科学省
- 3.厚生労働省
- 4.農林水産省
- 5.環境省

問 50.絶滅のおそれがある野生動植物の種の国際取引に関する条約の通称を次の中から1つ選びなさい。

- 1.ワシントン条約
- 2.ハーグ条約
- 3.ラムサール条約
- 4.京都議定書
- 5.パリ協定